

時間割コード	MA65170		
授業科目	基幹水利施設工学特論E (Advanced Hydraulic Structural Engineering)	担当教官	長束 勇
授業題目	基幹水利施設工学特論E (Advanced Hydraulic Structural Engineering)		
科目分類	特別コース開講科目		
単位数	2		
開講学期	前期	曜日・時限	水(3限,4限)
履修年次	1・2年	必修/選択	便覧参照
履修資格	平成17年度以降入学生		
授業形態	講義		
授業の目的	東南アジア諸国の水資源開発において重要度である頭首工の設計・施工に必要な知識の習熟を目的とする。		
科目の達成目標(達成度)	頭首工の設計・施工の基本的考え方が理解できる。		
授業の内容	1. 一般事項 2. 調査 3. 基本設計(設計条件) 4. 基本設計(設計緒元) 5. 基本設計(水理模型実験) 6. 細部設計(可動堰) 7. 細部設計(固定堰) 8. 細部設計(護床工) 9. 細部設計(基礎工) 10. 細部設計(取入れ口) 11. 細部設計(ゲート) 12. 細部設計(附带施設) 13. 細部設計(管理施設) 14. 施工(施工計画) 15. 施工(工事)		
授業の進め方	頭首工の設計・施工に習熟した専門技術者育成の要請に応えることに学習指導の重点を置いている。そのため、理解度を確認しながら講義を進める。		
授業キーワード	頭首工, 可動堰, 固定堰, ゲート, 水理模型実験		
テキスト	なし		
参考文献	「海外技術マニュアル 頭首工」 財団法人日本農業土木総合研究所 1989		
その他授業資料等	資料を配布する。		
成績評価の方法	1. 2/3以上出席した者を成績評価の対象とする。 2. 試験100点満点で、以下のように評価する。 100-80点: 優, 79-70点: 良, 69-60点: 可, 60点未満: 不可, 2/3未満の出席: 未修		
履修上の指導	学部の「水利施設工学」の講義に関わる基礎知識を習得していることを前提として履修すること。		
オフィスアワー	生物資源科学部2号館110室にて、水曜日の9・10時限とする。		
その他	講義に関する問い合わせや質問などは、以下のメールアドレスでも受け付ける。 natsuka@life.shimane-u.ac.jp		